

| | | | |
|----------------|--|---|-----------------------------------|
| 授業科目名 | ビジネス実務総論2 | 教員名 | 桑原 重雄 |
| | Introduction to General Business Practice2 | Eメールアドレス | skuwabara@miu.ac.jp |
| 授業形態 | 講義 | オフィスアワー | 授業終了後随時 (327研究室) |
| 科目番号 | IBM203 | 担当形態 | オムニバス |
| 単位数 | 2 | 配当年次 | 2年/前期 |
| アクティブ・ラーニング | 2-(3) プレゼンテーション 4-(1) 対話型講義 | 卒業要件 | 必須 (IBM/HTMコース) |
| 一般目標 | <p>急激に変化する現代のビジネスにおいて、求められるビジネススキルは大きく変化している。このような時代に、企業が求める資質は、主体性 (84.0%)、チームワーク・リーダーシップ・協調性 (76.9%) であり、能力は、課題設定・解決能力 (80.1%)、論理的思考力 (72.1%) である (経団連, 2021)。</p> <p>現代のビジネス環境において、複雑な問題解決の重要性が高まっている。複雑な問題解決に向けて解決プロセスを理解し解決するためのスキル修得が必要となる。</p> <p>本講義を通して、企業の現場で求められる課題に対してどのように取り組めばよいのか学び、ビジネス実務に必要なスキルの修得を目指す。</p> | | |
| 到達目標 | <p>社会人として欠かせないロジカルシンキング・クリティカルシンキング、コミュニケーションのスキルを身につける。また、新たなビジネスを創造するために必要となる創造的思考法を理解し実践できるようになる。</p> | | |
| 授業の概要 | <p>授業では、ロジカルシンキング・クリティカルシンキング理論、コミュニケーション理論をもとに、社会人の専門家を招聘し実践的なビジネススキルを修得する。修得したビジネススキルを活用し自らプレゼンテーションを行う。</p> | | |
| ディプロマ・ポリシーとの関係 | <p>ディプロマポリシーのうち、「1:クリティカル・シンキングをベースとした高度な思考能力を身につけている。」「2:各コースの教育を通じて基礎及び応用知識を身につけ、活用する能力を身につけている。」「3:課題発見及び問題解決能力を身につけている。」「4:情報技術活用能力を身につけている。」に関連</p> | | |
| 履修条件・注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス実務総論1の単位を取得済みであること。 | | |
| 授業計画 | N0 | 授業の内容 | 授業外の学習課題 |
| | 1 | オリエンテーション 授業内容、進め方、到達目標、成績評価方法の説明 社会で求められる資質・能力/社会人が抱える問題 | 事前: ビジネスで求められる資質・能力を調べておくこと。(90分) |
| | 2 | 考える力の必要性・本質 | 事前: テキストの該当箇所を目を通しておくこと。(90分) |
| | 3 | 問題解決の必要性 | 事前: テキストの該当箇所を目を通しておくこと。(90分) |
| | 4 | 問題解決のプロセス | 事前: テキストの該当箇所を目を通しておくこと。(90分) |
| | 5 | ロジカルシンキング MECE/演繹法/帰納法/因果推論 | 事前: テキストの該当箇所を目を通しておくこと。(90分) |
| | 6 | ロジカルシンキング 仮説/アブダクション | 事前: テキストの該当箇所を目を通しておくこと。(90分) |
| | 7 | 創造的思考・デザイン思考 ブレインストーミング (KJ法) | 事前: テキストの該当箇所を目を通しておくこと。(90分) |

| | | | | | | | | |
|----------------|---|----------------------------|-----|------|-------|---------------|------|----------------------------------|
| | 8 | 創造的思考・デザイン思考 成果報告・評価 | | | | | | 事前：テキストの該当箇所に 目を通しておくこと。(90分) |
| | 9 | コミュニケーション論① 「伝える」力の必要性 | | | | | | 事前：テキストの該当箇所に 目を通しておくこと。(90分) |
| | 10 | コミュニケーション論② 「実践 話してみよう」 | | | | | | 事前：テキストの該当箇所に 目を通しておくこと。(90分) |
| | 11 | コミュニケーション論③ 「質問する」力の必要性 | | | | | | 事前：テキストの該当箇所に 目を通しておくこと。(90分) |
| | 12 | コミュニケーション論④ 「実践 伝えよう」 | | | | | | 事前：テキストの該当箇所に 目を通しておくこと。(90分) |
| | 13 | 情報リテラシー (クリティカルシンキング) | | | | | | 事前：テキストの該当箇所に 目を通しておくこと。(90分) |
| | 14 | 情報収集 | | | | | | 事前：テキストの該当箇所に 目を通しておくこと。(90分) |
| | 15 | 情報分析 (統計) | | | | | | 事前：テキストの該当箇所に 目を通しておくこと。(90分) |
| 学生に対する 評価 | 試験 | 小テスト | 課題 | レポート | 発表・実技 | 授業への参 加・意欲 | 合計 | |
| | | | 50% | 30% | 10% | 10% | 100% | |
| 時間外の学習 について | 事前学習：90分 事後学習：90分 ・事前学習の共通事項：テキストの該当箇所を読んでおくこと。別途課題を指示することがある。 ・事後学習の共通事項：テキスト・配布資料を再読し実際の事例や関連情報を収集し理解を深める。 | | | | | | | |
| テキスト | ・浅岡孝光 (2013) 『社会人のための考える力』 産業能率大学出版 ・日沖健 (2013) 『社会人のための問題解決力』 産業能率大学出版 ・齋田真一 (2013) 『社会人のための情報解釈力』 産業能率大学出版 ・荒巻基文 (2013) 『社会人のための伝える力』 産業能率大学出版 | | | | | | | |
| 参考書・ 参考資料等 | | | | | | | | |